

(株)弘輝テック
専務取締役

小澤 直行氏



小澤 1985年に基
板向けのはんだ付け装置

付けが可能なセレクトイ
ブ自動はんだ付け装置が
主力製品となっている。

卓上型は09年に発売
して以来、世界で累計8
00台以上、インライン

品不足も徐々に解消し、
新型コロナ収束を踏まえ
た自動車関連などの生産
回復に支えられ、国内外

海外市場の開拓に
向けた取り組みをお聞か
せ下さい。

23年秋にはインライン
タイプは前期比2割の増収
を目指す。

また直営としては22年に
タイにも販促やアフター
ケアなどのサ
ービス拠点を
開設した。今
後、インドで

新型空室素リフロー炉を投入

26年4月期に連結売上50億円目標

(株)弘輝テック(埼玉
川越市)は、自動はんだ
付け装置を中心に新型N
²(窒素)リフロー炉な
ど各種はんだ付け装置を
展開する。2022年に
はダイナトロン(株)(東京
都北区)と資本提携し、
同社グループ傘下となっ
た。基板用CAMソフト
大手のダイナトロンとの
相乗効果を狙う。弘輝テ
ックで、新製品開発など
の陣頭指揮を執る専務取
締役の小澤直行氏に足元
の事業環境や今後のビジ
ネス展開を聞いた。

の専門メーカーとして設
立された。2016年に
はさいたま市から現在の
本社機能がある川越市に
移転した。従業員は45人
にのぼり、大半が装置設
計などを担うエンジニア
集団である。名古屋や大
阪にも設計人員を擁して
いる。

試作や小・中
ロット生産に
対応しやすい
卓上/オールインワンタ
イプから、量産向けのイ
ンライン「SELBO」
(セルボ)モデルを顧客
ニーズに合わせてライン
アップしている。セルボ
は、ライン構成に応じて
増設しやすく柔軟に生産
能力に対応できる。

は250台以上が販売さ
れた当社の大ヒット製品
である。いずれも業界デ
ファクト製品と自負して
いる。

— 足元の受注環境を
教えて下さい。

小澤 好調に推移して
いる。特に前期(23年4
月)は、半導体など電子部
品不足も徐々に解消し、
新型コロナ収束を踏まえ
た自動車関連などの生産
回復に支えられ、国内外

の開設も検討する。欧州
では専門商社と連携しな
がら事業拡大を図りた
い。

— 今後の事業計画に
ついて。

小澤 競争力のある装
置開発をさらに推進し、
親会社のダイナトロンと
の相乗効果を発揮して、
26年4月期には連結売上
高をグループで現行の2
倍強にあたる50億円まで
引き上げたい。ダイナト
ロンは、基板用CAMソ
フトではシェアナンバー
ワンの実績があり、こう
したソフト・ハード面か
ら顧客ニーズに最適な製
品開発を継続していく。
(聞き手・特別編集委員
野村和広)

